

勿忘の鐘

3.11 PM 2:46

わすれなのかね

鐘

日時 2018年3月11日 14:25～
場所 姫路船場別院本徳寺（姫路市地内町1）

被ばく牛と生きる

殺さなきやだめですか？

知られざる農家の決意、軌跡に心を揺さぶられるドキュメンタリー。

2011年、福島第一原発事故から1ヶ月後、国は20km圏内を“警戒区域”に指定し、立入りを厳しく制限した。強制避難を強いられた明日をも見えない農家は、涙をのんで従うしかなかった。震災発生当時に約3500頭いた牛は、牛舎につながれたまま残され約1400頭が餓死した。翌5月、農水省は放射能汚染された食肉を流通させないため、20km圏内にいるすべての家畜の殺処分を福島県に通達し、生き残った牛の大半が薬殺された。

しかし、「大切に育ててきた牛の命を人間の理屈だけで奪うことできない」という思いから、国が決定した殺処分の方針に納得できず、膨大な餌代を自己負担しながら牛を生かし続けようとした畜産農家が現れた。ある農家は被ばくを覚悟で住んではならない居住制限区域で暮らし、別の農家は2日に1回60キロ離れた二本松市の仮設住宅から帰還困難区域にある牧場へ通い続けた。

※バリアフリー版の上映もあります

主催 真宗大谷派 山陽教区 仏教青年会

お問い合わせ ☎ 090-4498-3149（松岡）

3.11 のつどい

東日本大震災追弔会

2011年3月11日14時46分、大きな揺れと目を疑いたくなるような津波の光景を目の当たりにした。あれから7年を迎えようとしている。

あの日から、日本中が被災地に思いを馳せ、様々な形で支援の輪が広がった。

「忘れないでください。」今、その言葉に私たちは、応えているだろうか。

あの時、何を感じ、何を思ったか…

「決して忘れてはいけない。」その思いを鐘に込めて…

日程

14:25	勤行（正信偈） 於：本堂
14:46	勿忘の鐘 於：鐘楼堂
15:20	映画『被ばく牛と生きる』 於：敬愛館
17:10	監督トーク 30分程（質疑）

監督・編集 松原保 プロデューサー 榛葉健 ナレーション 竹下景子
製作 株式会社パワーアイ 配給・宣伝 太秦 【2017年 | 日本 | DCP | 104分 | カラー | 16:9】



監督
トーク
あり

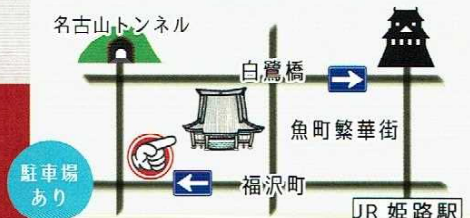
2016年
ビュートンドキュメンタリー
映画祭(阿倍野)
招待上映

2017年12月期
ハリウッド国際インディペンデント
ドキュメンタリー映画祭
最優秀作品賞、最優秀初監督賞

2017年
ドイツ・ウラン国際映画祭
招待上映

2017年 山形国際
ドキュメンタリー映画祭
【16:9 Cinema with Us 2017】招待上映

名古山トンネル



駐車場
あり

JR 姫路駅